

# 公共交通機関としての使命は…

北部九州豪雨からもうすぐ1年です

昨年の北部九州豪雨により、久大線ならびに日田彦山線が甚大な被害を受けました。

久大線については、7月には復旧する見込みと言われていますが、日田彦山線については、未だに復旧見込みが立っていません。平成29年7月九州北部豪雨により被災した日田彦山線について、福岡県、大分県、東峰村、添田町、日田市、JR九州が連携し、日田彦山線を復旧するための方策を検討し、実施するための会議を開催されましたが、JR九州や関係自治体の間で、費用の負担等、各方面の思惑があり交渉が難航しています。

日田彦山線については、JR九州の開業以来、平均乗客数は約5分の1に減っていると言われています。確かに、JR九州は株式上場し、民間企業として採算性を考えれば、大幅な復旧費用を単独で出すことに二の足を踏むかもしれません。JR発足以降、固定資産の減免措置等、地元自治体の協力があったおかげで鉄道運営が安定し、上場につながった面が大きいのではないのでしょうか？

上場しても、地元自治体やお客さまに対しての敬意を払うことを忘れてはいけません。

地域を元気にするのは？

地域の元気がなくなれば、JR九州グループが元気になることはない」と会社は言っていますが、現状として、地域は元気になっているのでしょうか？

今回のダイヤ改正で、大幅な列車本数の減便となり、多くの地域のお客さまから「不便になった」との声が上がっています。

お客さまが、私たち鉄道会社に求める本質的なサービスとは何だと思えますか？豪華な観光列車や、高級ホテルでしょうか？

これまでお世話になった地域住民のためにも、私たちは、お客さまの声に耳を傾け、相手の立場に立ち、考えや思いを理解することによって、地域の方々とコミュニケーションを深め、信頼を築いていくべきではないでしょうか？

「九州」と名の付く会社です。九州を元気にするためには何をすべきでしょうか？列車本数の削減は、地域経済に大きく影響します。



地域のお客さまが、私達に求めているのは何でしょう？



若い力

第 96 号

2018年 6月15日

発責 国労九州本部

博多区博多駅東3丁目9番3号

ニッコーハイツ1003号

JR 092-2075

NTT092-483-1515